



# 化学物質等安全データシート

## セクションー1 製品及び会社情報

製品名 :アーマーポリ<sup>TM</sup>  
製造元 :アーマー プロテクティブ パッケージングR ( ARMOR Protective PackagingR )  
住所 :アメリカ ミシガン州 ハウエル市 ジョーンズストリート 951 48844  
T E L :800-3365-1117  
F A X :517-546-6434  
輸入販売:ニッペトレーディング株式会社  
住所 :〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-22-16  
連絡先 :ニッペトレーディング株式会社 機材部  
T E L :06-6338-5654  
F A X :06-6338-5656  
製品種類 :防錆フィルム  
用途 :防錆

## セクションー2 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響/特定の危険有害性:特に危険有害性の情報を有していない

## セクションー3 組成及び成分情報

危険有害成分:危険有害性成分を規定量含有せず

化学名	CAS番号
アーマー気化性防錆剤	
ポリエチレン	9002-88-4
二酸化ケイ素	7631-86-9

アーマー気化性防錆剤はWHMIS(作業場危険有害性物質情報システム)、  
米国労働安全衛生局(OSHA)、スーパーファンド改正法(SARA)において危険物とみなされない  
また、副次的なアミンは含まれていないが、亜硝酸塩が0.5%以下含まれている

## セクションー4 物理データ

沸点	該当なし	比重	該当なし
蒸気圧	該当なし	処理条件	該当なし
蒸気密度	該当なし	蒸発率	該当なし
水への溶解度	不溶性	臭い	微臭
物理状態	固体		

## セクションー5 反応性

安定性 :安定  
避けるべき条件 :120°C以上  
混触危険物質 :強酸化剤および強酸  
重合危険性 :発生しない  
分解危険性 :外部物質または温度条件および密室により製品分解される  
熱することで炭化水素、アルデヒド、有機酸、アルコールが微量発生する  
完全燃焼すれば二酸化炭素と水が生成される

## セクションー6 火災時の措置

引火点	: 該当なし
適切な消火剤	: 霧水、二酸化炭素、泡状もしくは乾燥粉末消火剤
火災時の注意事項	: 呼吸可能な防護服で全身を覆う

## セクションー7 健康有害性情報

感染経路	: 皮膚または目への接触
吸入	: 物理特性上吸入は考えられないが、製品を細切れにし、チリを発生させた場合、鼻や喉に軽い刺激を与える可能性あり
目への接触	: 危険性少、チリが目刺激やかゆみをあたえる可能性あり
皮膚への接触	: 刺激やかゆみは発生しないが、長時間の接触は避けること
慢性的な危険要素	: 微量(0.1%以下)の結晶シルクを含有する。吸入すると健康に害を与え、IARC(国際癌研究機関)では結晶シルクを発がん性を有する可能性のある物質として分類している また、結晶シルクはケイ肺症(過度のシリカにさらされることで引き起こされる非発がん性の肺の病気)の誘因物質として知られている
健康状態への悪影響	: 報告されていない
がん物質	: 該当なし
奇形性因子	: 該当なし
変異原性物質	: 該当なし
毒性	: 該当なし
暴露限界データ	: データなし

## セクションー8 保管と特に予防すること

廃棄物処理方法	: 国の法令や都道府県条例に従って処理すること
使用方法と保管	: 使用においては可燃性のないところで使用すること 乾燥した清潔な部屋で保管すること

## セクションー9 緊急事態と応急処置

吸入した場合	: 通常の使用方法では悪影響は発生しない
目に接触した場合	: 刺激を感じたら水で洗い流すこと。目への刺激が続く場合は、医師の診察を受けること
皮膚に接触した場合	: 刺激を感じた場合は肌を水や石鹼で洗い流すこと。刺激が続く場合は、医師の診察を受けること。もし溶けだした物質に触れ火傷した場合は、出来るだけ早く水で冷やし、火傷治療のため医師の診察を受け、皮膚から無理に引き剥がさないこと。火傷は熱傷として扱い治療すること
摂取した場合	: 医師の診察を受けること

## セクションー10 取扱い及び保護措置

取扱いの注意	: チリやほこりの発生を防止するために十分な換気をする
呼吸器官の保護	: 通常不要
皮膚の保護	: 通常不要。刺激を感じる場合は手袋を着用すること
目の保護	: チリやほこりが発生する場合は、ゴーグルを着用すること
他の保護服や器具	: 特になし
衛生上の習慣	: 調理人と接触しない。使用後は手を洗淨すること

## セクション11 廃棄上の注意

廃棄物は、都道府県条例にもとづいて処理すること

## セクション12 その他

記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。  
従いまして全ての損害や損失に関する責務に対する対応はいたしません。  
また、記載事項は通常の実用性を対象とするものですので指定された用法以外には  
使用しないでください。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報にもとづいて  
作成しておりますが、今後法律、規則等の改正、新たな知見及び試験等により改正  
することがあります。  
尚、この「化学物質等安全データシート」は日本国内においてのみ適用するものとします。